

# バイパスの開通により安全で円滑な交通を確保 —主要地方道 筑西つくば線 バイパス整備—

## 【事業概要】

- ◆ 県道筑西つくば線は、筑西市とつくば市を結ぶ重要な幹線道路であるとともに、本バイパスは緊急輸送道路であるため県では延長約7キロメートルのバイパスを計画し、整備を進めてまいりました。
- ◆ この度、県道下妻真壁線から現道までの約2.2キロメートル区間が開通し、優先区間である約3.9キロメートルが供用となりました。

事業箇所： 筑西市松原～中根 (優先区間)

延 長： 3.9km (うち今回開通2.2km)

幅 員： 27/6.5m (暫定2車線)

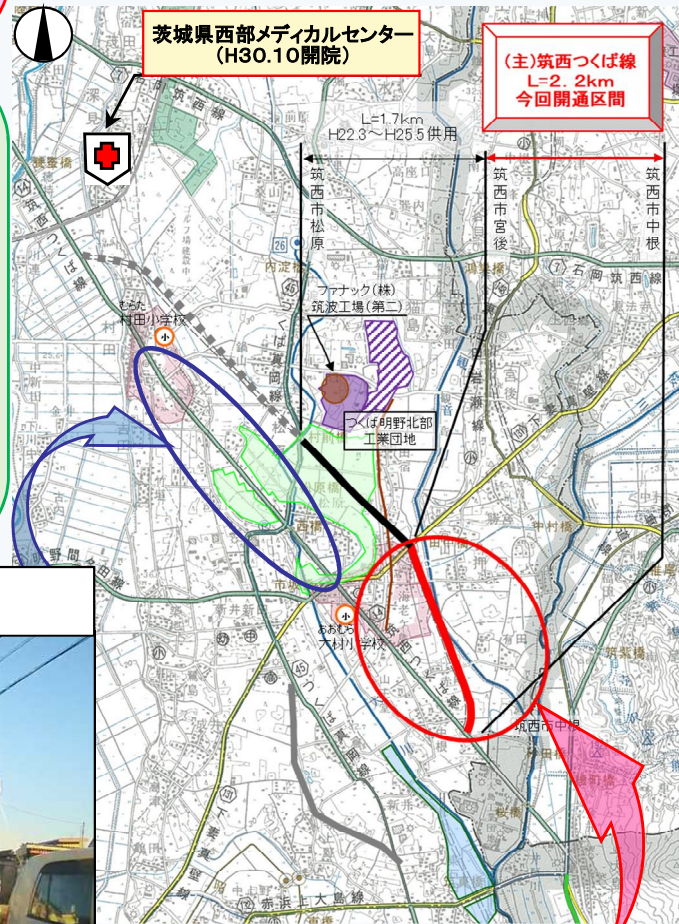
事業費： 約34億円

## 【課題】

- ◆ 現道の沿道は人家が連担し、現況幅員が狭く、歩道が整備されていないことから、歩行者や通過車両の安全で円滑な交通の確保が課題となっていました。

## 【整備効果】

- ◆ 優先区間の開通により、近隣の学校などに通う子供たちの安全が確保されるとともに、つくば明野北部工業団地及び、H30年10月に開院した茨城県西部メディカルセンターへのアクセス向上に寄与することから、地元・筑西市やつくば市をはじめとした周辺地域の活性化に大きく貢献するものと期待されます。



【現道状況写真】・幅員が狭く、歩道もなく危険！



バイパス整備後(全景)

バイパス整備後(暫定2車線)



H30.3月に筑西市  
宮後～中根までの  
約2.2kmが供用開始

